

## 巻頭言

医療の高度化、医薬分業の進展等に伴う医薬品の安全使用や薬害の防止といった社会的要請に応えるため、薬剤師養成のための薬学教育は平成18年度に6年制となりました。生命科学の著しい進歩により薬学領域で必要とされる知識と技能は膨大となっています。また、豊かな人間性をもった医療人の養成も国民からは強く求められています。薬剤師は病院や地域において、医療チームの一員として種々の問題発見・解決に取り組み、より質の高い医療を提供することが期待されています。

平成18年度から始まった6年制薬学教育は、平成14年度に策定された「薬学教育モデル・コアカリキュラム」と「実務実習モデル・コアカリキュラム」に基づいて構築されています。平成28年度の3～6年次の学生は、従来のモデル・コアカリキュラムに準拠した教育プログラムに従って学修します。一方、1～2年次の学生は文部科学省から提示された「**薬学教育モデル・コアカリキュラム平成25年度改訂版** [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/01\\_d/08091815.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm)（以下、改訂コアカリ）」に基づいて本学で新たに策定したカリキュラムに沿って学修を進めます。改訂コアカリでは、6年卒業時に必要とされる「**薬剤師として求められる基本的な資質**」として、以下のような「**10の資質**」が提示されました：①**薬剤師としての心構え**、②**患者・生活者本位の視点**、③**コミュニケーション能力**、④**チーム医療への参画**、⑤**基礎的な科学力**、⑥**薬物療法における実践的能力**、⑦**地域の保健・医療における実践的能力**、⑧**研究能力**、⑨**自己研鑽**、⑩**教育能力**。一方、「**昭和大学薬学部学生が卒業時に有している能力**：①**プロフェッショナリズム**、②**コミュニケーション**、③**チーム医療**、④**専門的実践能力**；(1)**医薬品の調製、管理、供給**、(2)**薬物治療の計画・実践・評価**、⑤**社会的貢献**、⑥**薬学研究と自己研鑽**、⑦**アイデンティティ**」は、改訂コアカリに先駆けて本学が独自に策定したものであり、「**10の資質**」を包含した内容です。ここに挙げられた能力を卒業時に有していることができるようカリキュラムが構築されています。学生の皆さんは卒業時に上記の「**薬剤師としての資質・能力**」を十分に身につけていることを目標に学修に励んでください。

本学の大きな特色である臨床教育、チーム医療教育プログラムは、毎年内容を充実発展させています。平成27年度からは4年次後期2月から新たに「**病院実習1**」を開講しました。これにより本学の病院実習は全国の薬系大学の中で最も早く始まり、期間も最長となります。この実習期間の延長により、平成28年度から5年次の「**病院実習2**」において臨床参加型実習**クリニカルクラークシップ**を導入します。この取組により、学生の皆さんの実習終了時の到達レベルがさらに高まることを楽しみにしています。

また、平成18年度から構築してきた本学附属病院を中心としたチーム医療教育プログラムに加え、平成26年度からは新たに文部科学省の支援を受けて「**在宅チーム医療教育推進プロジェクト：大学と地域で育てるホームファーマシスト～患者と家族の思いを支え、在宅チーム医療を実践できる薬剤師養成プログラム～**」に取り組んでいます。在宅チーム医療教育プログラムを平成27年度入学生から体系的かつ段階的に構築導入しており、今年度は2年生を対象に「**在宅医療を支える NBM と倫理**」を新規開講します。病院でも地域でも発揮できる**チーム医療実践力**を身につけて下さい。

本学薬学部は薬学教育改革に積極的に取り組み、「**至誠一貫**」の理念のもと、医・歯・保健医療学部と密接な連携を取りながら、医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を育成する特色あるカリキュラムを実行しています。本学のカリキュラムと環境を大いに活用して**主体的に自己研鑽に励み**、昭和大学の薬学部生として医療に貢献する能力を身につけてください。この一年間の皆さんの成長を心から期待しています。

平成28年4月

薬学部長 中村明弘